

議事録

名称	令和7年度 大三島地区学校適正配置地元代表協議会（第3回）
開催日時	令和8年2月5日（木）19時00分～20時20分
開催場所	上浦開発総合センター 2階 大ホール
出席者	【委員】 会長 外20名（教育長、副教育長を含む）
	【その他】 上浦支所長、大三島支所長
	【事務局】 今治市教育委員会、上浦地域教育課、大三島地域教育課
傍聴者	—
議題	1 望ましい学校のあり方について 2 意見交換 3 中間まとめ

議事録（要点筆記） 文中（※）は補足した内容

会長	<p>本日はお忙しい中、そして少し温かいとはいえ、お寒い中、本協議会、ご参集いただきありがとうございます。</p> <p>本日もどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>まず、本協議会開催にあたり、本日は傍聴希望ございません。</p> <p>定足数に達しているため、会議が成立しています。</p>
会長	<p>第3回大三島地区学校適正配置地元代表協議会を開催する。</p> <p>まず、前回の内容について寺元由美委員、小笠原史委員に署名いただいた議事録は、事前に送付している。</p> <p>本日の会議録署名人を指名する。</p> <p>水口直樹委員、川本隆哉委員よろしく願います。</p>
会長	<p>委員の交代があるので、ご報告する。</p> <p>大三島連合自治会会長 酒井 伸委員、そして大三島連合自治会副会長 渡邊 潔委員は遅れて参加される。</p>
会長	<p>それでは、議事に入る。</p> <p>先日の会議では、本日の会議で事務局から具体的な統合案を提示し、その案を踏まえて、大三島地区における望ましい学校の場所、あり方について話し合いをすることとした。</p> <p>従って本日は、議事（1）で事務局からの情報提示、そして（2）で意見交換をさせていただこうと考えている。</p> <p>では事務局から情報提示をお願いします。</p>

	(事務局 資料1～4、参考資料を説明)
会長	<p>以上で事務局からの情報提供が終わったが、ご質問等ないか。</p> <p>(委員 質問なし)</p>
会長	<p>では続いて2番目、意見交換に移る。</p> <p>ここで意見交換の内容だが、資料1、赤枠で囲っている「1 統合場所について」と「2 統合校のあり方について」、この2つが主な話し合い(のテーマ)になると思う。</p> <p>この地元代表協議会で決定するというわけではない。事務局からは、たたき台がないと話が進まないのので、大三島小学校を統合校として提案いただいた。</p> <p>まずこのことについて、皆さんからのご意見等をお伺いしたい。</p>
A委員	<p>大三島中学校で小中一貫校は「無理」と説明されたが、少子化で児童生徒数が減る中、今後の学校のあり方をどう考えているのか。</p> <p>大三島町と上浦町で小中学校を分ける話は理解できるものの、「小中一貫校がなぜ無理なのか」「協議会のメンバーは、小学校を今のまま別々にすべきと考えているのか、それとも一貫校化を検討すべきと考えているのか」という点について事務局はどう考えているのか。</p>
会長	<p>まず理由について回答をお願いします。</p>
事務局	<p>中学校に統合する場合、校舎の規模が不足し、学級数が収まるギリギリの状態になるうえ、現状の職員室では小学校教員を追加配置するスペースがないため、施設拡張が必要となり、統合直後の学校規模では対応は難しいということである。</p>
会長	<p>教室数、職員室の場所がないという現状であるとのこと。</p> <p>いかがか。</p>
A委員	<p>今のままでいくと、小学校も将来的な改修が必要だと資料3に書かれている。</p> <p>小中一貫校で進めると、今言った教室が少ないのであれば増設のため当然お金がかかってくる。</p> <p>(事務局案で) 小学校に公費を突っ込んで改修するのか、それとも、</p>

	<p>これから先のことを考えて小中一貫校にして、教職員の部屋数が少ないのであれば、それを増設して使うのか、将来的に考えたときに、どういうふうになるのか。</p>
会長	<p>それは、同じ予算を使うにしても、小中一貫校で増設する費用と小学校を改修する費用が…。</p>
A委員	<p>小中が一緒になることで、児童同士だけでなく中学生も含めたコミュニケーションが広がり、少人数化の中で良い効果が期待できると思う。一方で、最終的には費用面の課題があり、これを解決しないと合意形成は難しい。</p> <p>ただし、検討にあたっては大人側の都合だけでなく、まず「児童の視点」を最優先して考える余地があるのではないか。</p>
会長	<p>地域とのコミュニケーションという点では、例えば、上浦町側に小・中学校を集める場合は、大三島町側の地域との交流をどう作るかも考えなければならない。</p> <p>1つの地域に集約する考え方もあれば、両地域に分散させる考え方もある。</p> <p>事務局案は、上浦町・大三島町の両方の地域と関われるよう配慮したもので、小学校・中学校で大三島町・上浦町を体験・学習することが望ましいという考え方であろうと思う。</p>
B委員	<p>少子化で小学生数が今後さらに減ることを踏まえ、個別に小学校を改修しても再び同じ問題が起きるため、費用を有効に使う観点からも小中一貫校を検討すべきだと思う。</p> <p>(小学校を)統合してすぐは(中学校との一体校舎活用は)スペース的に難しいという話だが、教室数はぎりぎり足りるのではないかと思ったりする。中学校は近年大規模改修が済んでおり、その施設を活用した方が将来的にも合理的ではないか。</p> <p>また、地域学習についても、上浦と大三島を分けて学ぶのではなく、大三島全体を対象にした学びの場として、一貫校を検討して良いのではないか。</p>
C委員	<p>そもそも改修費用だが、このまま行ったら人数が少なくなるということなので、そうなる場合合併しなくてもぎりぎりまで待つ、という考え方もできると思う。</p> <p>9年間、子どもが同じところに通うというのが、ちょっと小学生には</p>

しんどいのではないか。環境も変えてあげたほうがいいと思うので、小中一貫校は私のなかでは（選択肢に）ない。

会長

そういう考え方もある。他の方からも色んなお考えを伺いたい。

D委員

中学校の校舎は大規模改修を平成25年にやっているが、これをやったことで、しばらくは改修しなくていいということか。

事務局

市内小中学校が41校あり、長寿命化計画を策定し、今それを見直しているところである。1回改修したからといっても、永遠に大規模改修が必要ないということではない。また何十年かしてサイクルが来たら改修の時期がくると考えている。

そして平成25年の改修は、主に耐震補強、体育館の屋根部分の修繕を主に行っている。それに加えて、中学校統合により必要となった部屋の改修などを行っている。

今後、大三島中学校も、上浦小学校や大三島小学校も一定の時期が来たら修繕は必要になってくる。それがいつの時期かは明言できないが、いずれの施設も修繕は必要になってくると思う。

会長

修繕費について注目が集まっているが、元々は複式学級を解消することが目的でこの会は始まっていると私は認識している。

その問題をどうするか、という視点で話し合っていたらと思う。

大三島の魅力というのは、上浦町にいても、大三島町にいてもそれができると思う。小中一貫校というが、授業は（小学校課程と中学校課程で）全く別物である。

（小中学校の）交流ということもあるが、通常の授業は別々にするので、一緒にするからといって人数が増えるとかは、中学校教員としては、一緒に登校し、学校に集まりにぎやかになるということはあるが、授業面については全く別のカリキュラムでやっていくところが多々あるので、その辺りも加味いただきたい。

D委員

統合の理由だが、噂程度にいろいろ聞いた。中学校が統合する時に上浦町側に来たので、小学校が統合する時には大三島町側にいくという話を、すごくふわっとした噂をよく聞く。

これはただの噂で、理由の中に含まれていないということでしょうか。

事務局

噂ということではない。

10数年前に統合協議をした際に、最終的に意見書というものが出て

いる。この意見書の中に小学校についての記載があり、将来推計から1学級となる場合には、大三島町内を設置場所として上浦小学校と大三島小学校の統合を検討するという意見書の内容があることは事実である。

ただ、この文言をもってこちらも今回統合案をお示ししたということではない。

会長

当時としては、今は大三島中学校がなくなって、新大三島中学校になっているが、やっぱり地域としては、子どもたちの声が聞こえない、寂しいという声が出てきた。そういうことを当時踏まえて話し合っただけの結果、その前提が多分あったので中学校は上浦町にしようという方向性になったと思う。そういう流れもあり、こういう案が出てきたと思われる。

E委員

約束をなかったことにしたら、色々と問題があるのか。

小中一貫校にならないのであれば、小学校は中学校と近い方がいいのではないかと考えるが、そうした約束の問題がどうなるのかを教えてください。

会長

当時の意見書なので、決定事項ではないと思われるが、事務局から何かあるか。

事務局

中学校の統合については、旧上浦中学校を使って新しい大三島中学校をつくることで当時の協議会が合意していた。また、小学校も将来的に児童数が減ることは分かっていたが、複式学級が発生するまでは各地域で運営を続ける方針だった。

最終的に「中学校は上浦町側」「小学校は大三島町側」にすることで委員が一致した。

意見書は教育委員会が最大限尊重するものの、それ自体が最終決定ではなく、教育委員会や市議会で地域の協議内容を踏まえて最終判断を行うという位置づけであることをご理解いただきたい。

会長

中学校が上浦町側、小学校が大三島町側という前提のもとに、中学校（の統合）に納得してもらった、決定していったという流れがあったとのことである。

現在、中学校が統合して10年になるが、いろんな意見があったと思うが、そういう前提条件で皆さんが納得して色々動いていった。

F 委員	<p>中学校では防災をテーマに、地域・家庭とのつながりを深める取り組みを進めてきたが、学校が上浦町側にあるため、防災士との交流は上浦町の人を中心になってしまい、大三島町側の住民との関わりが少ない。</p> <p>防災活動には地域の力が重要であり、小学校が大三島町側にあれば、そちらの地域との交流も広がる。</p> <p>学校と地域のつながりを考えると、両地域に学校がある方が望ましいと考えている。</p>
G 委員	<p>小中一貫校については施設面と学習面の両方で課題がある。</p> <p>かつて勤務した関前中学校（小中一貫校）は、小学校と中学校が同じ建物内にあり、教室や職員室、特別教室が2重に整備されていた。</p> <p>その経験から、現在の大三島中学校を同様の形にするには大規模な改修が必要で、費用の見通しが見つからない。</p> <p>大三島小学校の耐震補強や体育館改修にかかる費用はどれほどか。中学校回収費用と比較し、どちらか一方の費用が大きく膨らむなら、別の選択肢も考えるべきだ。</p> <p>さらに、地域学習については上浦小学校でも大三島の良さを学ぶ機会をつくりたいが、移動手段や時間の制約から現状では難しい。</p> <p>小学校と中学校が別々の地域にある方が、双方の地域の特色を学ぶ機会が広がり、交流もしやすいと考えている。</p>
会長	<p>学校現場の現状としてはそういう課題が出てくる。</p> <p>各学校長からご意見いただいたので、私からも言わせていただく。</p> <p>学校現場では、授業が50分・休憩10分という時間的制約があるため、地域との交流で学校から外に出る場合は移動時間やバス代の負担が大きく、近い地域に行かざるを得ないのが実情である。</p> <p>そのため、(地域との)交流機会を考えると、学校がそれぞれ別の地域にあることで、小学校時代は大三島町、中学校では上浦町と、双方の地域に触れられる利点があるという考え方もある。</p>
D 委員	<p>私の個人的な意見でいうと、上浦町在住で、上浦小学校が自宅から歩いて行けるため、統合校も上浦小学校にしてほしいと考えている。一方で、大三島側の保護者は大三島小を望むなど、双方が譲れない思いを持っていると感じている。</p> <p>現在のたたき台では統合先が大三島小となっているが、議論によって上浦小に変更することは可能なのか疑問を持っている。中学校統合時の意見書では「小学校は大三島小に統合」とされていたため仕方ないと思っていたが、それが絶対ではないなら上浦小での統合を望む立場である。</p>

また、複式学級にはデメリットだけでなく、異学年が刺激し合う、思いやりが育つ、教員のスキル向上につながるなどメリットもあるとの意見もあり、必ずしも悪いことばかりではない。

さらに、両小学校とも将来的に大規模改修が必要だが、いずれ児童数減少で小中一貫校になることを考えると、今大きな改修費をかけるのは無駄になる可能性がある。

そのため「大規模改修が必要になるまでは小学校は2校のまま存続させ、中学校の準備が整った段階で小中一貫校にすべきだ」と思う。

会長

複式学級を継続したのでよいのではないかと、というご意見であった。

B委員

複式学級のことに関して言わせていただくと、私の息子は上浦小学校2年生で、2年生と3年生が複式である。

1年生の途中から学校に馴染めず不登校になったが、2年生で複式学級になり、3年生の児童との相性が良かったことや、教師の目が常に向かない環境が適度な安心感につながり、今は毎日楽しく登校できている。

複式学級は教員の負担が大きいものの、子どもによっては過度な緊張が減り、異学年交流がプラスに働くなどメリットもあると感じている。

一方で、教員数の減少など運営面の難しさも理解しているが、「今このタイミングで必ず統合しなければならないのか」には疑問があり、もっと後ろに延ばし、本当に運営が厳しくなったからの統合でもよいのではないかと思う。

会長

複式学級では他学年の児童とも関わりやすく、自分に合う友だちを見つけやすいという良さがある。しかし、同学年でも人数が多ければ同様のメリットは得られ、友だちの選択肢が広がることで人間関係の負担が軽減される。

少人数の学校では、数人の同じ仲間と長年過ごすため関係が固定化し、苦しい状況になりやすいという課題もある。

そうした点から、「複式より統合の方がよい」という意見は、友人関係の選択肢が増えることを重視した考え方によるものだと捉えられる。

非常に考えさせられるご意見であった。

学校現場として教員が減るとするのは段々厳しくなってくると思うが、いかがか。

H委員

複式の話があったが、複式のメリットもあると思う。先ほどD委員が言われた人間関係や教員の資質・能力が向上するなど。

愛媛県は地形的事情から複式学級が多いが、実際に複式校で勤務した

経験から、教員負担が非常に大きく、研修や出張、修学旅行などで人が抜けると学校運営が成り立ちにくいという問題がある。そのため、複式はできれば避けるべきであり、学校適正化（統合）は必要だと感じている。

大三島小学校は来年度に複式が発生する見込みで、教職員数も定数上2名減る予定である。今年は特別支援学級の配置数により比較的手厚い体制になっているが、これは制度上の人数計算によるもので、法律に基づくため調整が難しい。

上浦小学校でも複式があり、今治市が特別に学習アシスタントを増員して運営を支えている。現在の教育現場はこうした手厚い支援があって成り立っていることを報告させていただく。

会長

小学校は教科担任制ではないので、ぎりぎりの人数しかいない。

いざという時には困る状況が多々出てくる。教員の方から厳しい現状というのはあるが、外からは見えないが、中学校にしても然りである。中々厳しい状況がある中で、子どもたちに満足な授業をしたい、子どもたちに学力をつけたいという面でいけばしんどい面が多々出てくる。

会長

本日の内容については、1つは統合場所、そしてもう1つは統合校のあり方についてもあるが、統合する、しない、小中一貫についてなど色々な意見が出たので、2番目の話題（学校のあり方）には触れにくいかなと思うが、他にご意見ないか。

I 委員

相談員として児童に聞いたところ、上浦小の複式学級はほとんどの子が楽しく過ごしており、嫌だという声はほとんどない。ただし、低学年側の指導時間が多く、寂しさを感じるという（高学年の）子はいた。また、島内に小学校が2校あることで、うまくいかない場合にもう一方の学校を選べる「逃げ道」があるのは良い点だと考えている。

9年間同じ仲間だけと過ごすのはしんどい面もあり、適度に離れた別の学校があることにも良さがあると思う。

B 委員

いろいろ申し上げたが、最終的には統合校は大三島小学校になるだろうと感じているが、小学校の教職員数が「法律で決まる」との説明を受け、その根拠となる法律が何かを教えてください。

また、前回会議後に保護者間で話題になったので言うておくが、大三島では島域が広く登校に時間がかかり、早朝に家を出る児童が多いことから、始業時間を見直してほしい。

会長	まず、法律については、事務局お願いします。
事務局	<p>教職員数は国の「義務標準法」に基づいてクラス数に応じて決まり、法律で定められた枠の中で配置されている。</p> <p>始業時間についてはある程度の調整は可能だが、授業時間（小学校45分・中学校50分）や休憩、給食、下校・部活動の関係で大幅な変更は難しい。</p> <p>10～15分程度の繰り下げは検討できるが、30分以上遅らせると運営上支障が出るため、今後の協議の中で可能な範囲を検討していくことになる。</p>
会長	<p>教職員定数は全国で共通の基準で決められており、自治体ごとに自由に増減できないため、学校適正配置の議論が必要になっている状況であることはご理解いただきたい。</p> <p>本日の会議では多くの意見が出揃ったので、事務局側でそれらを整理し、令和7年度のまとめとして町や市の広報などを通じて地域住民へ周知したいが、委員の皆さんはいかがか。</p> <p>(委員 了承)</p>
会長	事務局もよろしいか。
事務局	<p>他の地域でも、広報などを通じて、会の内容等を町民、市民の方に伝えているので、対応可能である。ご要望があれば対応させていただきたい。</p>
会長	<p>それでは、事務局にて対応よろしくをお願いします。</p> <p>他にご意見等ないか。</p> <p>意見も無いようなので、本日の話し合いをここまでとさせていただく。</p> <p>最後、事務局から何かありましたらお願いします。</p>
事務局	<p>次回の開催日時だが、次回は大三島町での開催とし、5月中旬に実施をしたいと考えている。</p> <p>新年度、メンバーが変わるので、人員確定次第、改めて4月以降に日程調整させていただきたい。</p> <p>また、委員の変更がある場合は、それぞれの地域教育課までご連絡いただきたい。</p>

会長

長時間にわたりご協議、誠にありがとうございました。
以上をもちまして、第3回大三島町学校適正配置地元代表協議会を閉
会します。

以上、会議の次第を記し、その相違ないことを証するため署名する。

令和8年 2月25日

水口 委員 7/22 直樹

川本 委員 川本 隆二